

行政視察報告書

委員会名	総務委員会
派遣委員	委員長 梅田 徳男 副委員長 甲斐 尊 委員 戸匹 映二 委員 大塚 州章 委員 奥田富美子 委員 内藤 康弘
日程	令和7年10月28日(火)
視察先	埼玉県深谷市
調査項目	地域通貨について

1. 調査目的

深谷市は、地域内購買活動の確保、地域課題の解決、行政コストの削減、及び観光回遊施策を目的とした地域通貨(ネギー)を導入し、地域一丸となった持続可能なまちづくりを推進しています。地元経済の活性化や商店街に加え、福祉・健康・観光分野の促進など多面的な可能性を持つデジタル化の今後の新たな施策として、本市でも現在検討が行われているため、導入の手法や効果等についてご教示いただき、調査・研究を行いました。

2. 調査内容

(1) 視察先の概要

深谷市は、埼玉県の北部、利根川を挟んで群馬県に接する地域で、人口約140,000人、面積は138.37平方キロメートルです。深谷ねぎに代表される農産物と、花きの栽培が盛んな農業都市です。また、近代日本の礎を築いた渋沢栄一の生誕地であり、市内には関連施設が数多く存在します。農業に加え、レンガや瓦の製造に端を発する工業も発展し、近年はふかや花園プレミアム・アウトレットもオープンするなど、観光地としても注目されています。

(2) 調査結果

深谷市では、「地域内経済循環の向上」と「地域課題の解決」に貢献し、地域一丸となった持続可能な地域経営を実現することを目的に、2年間の実証実験を踏まえ、令和3年4月より地域通貨ネギーを本格導入しています。本事業は、深谷市総合計画の中で、「ヒトとマチがネギーでつながり元気と笑顔が生まれる社会」を目指す姿に掲げ、行政コストの削減などに貢献した市民等に地域通貨を進呈し、削減したコストの一部を地域通貨運営費用とすることで、持続可能な地域通貨を運営するなど、市役所全庁的に推進しています。

特徴的なサービスとしては、納税に際し、口座振替に変えた場合にネギーを付与する、「ネギーで口座振替キャンペーン」のほか、市民に選挙投票の啓発活動を行ってもらい、投票率の県内順位に応じてポイント還元率をアップする「選挙の投票率アップ大作戦」や、市民が特産品を紹介し、ふるさと納税の寄付額が県内1位になった場合にポイント還元する「特産品PRでふるさと納税アップ大作戦」、高血圧予防のために検診や市健康イベントに参加す

るとポイント付与する「健康づくり応援事業」を行うなど、地域通貨を通じて、行政コストの削減や市民の地域貢献の促進、健康推進に努めています。

また、地域通貨を活用した募金事業や、授産製品を購入して障害者施設を支援するとポイント還元する事業など、市民の社会貢献を推進する事業も行っています。

地域通貨ネギーの決済方法としては、スマートフォンを活用したアプリタイプに加え、IT操作が不得手な高齢者対応としてカードタイプもあり、全世代が利用できる体制を構築しています。導入にあたっての店舗側の費用負担についても、スマートフォン又はタブレットがあれば初期費用は発生せず、決済手数料についても無料にしているため登録店舗の拡大につながっています。導入時には、商工会と連携して事業者説明会なども実施しています。

以上の体制構築及び利用促進の取り組みにより、令和7年10月時点で、取扱店舗数は1,051店舗、ネギー総発行額約92億ネギー、登録ユーザー約68,000アカウントとなっており、地域通貨を通じた行政コストの削減や地域内購買活動の確保による経済活性化、市民参加型の地域課題の解決に大きく貢献しています。

3. 委員会の所感

この度の調査を通じて、地域通貨の導入は、市内経済だけではなく市民の地域社会に対する行動喚起にもつながり、持続可能な自治体を目指すうえで非常に効果が期待できる制度であることを感じました。深谷市は人口140,000人で市内店舗数も多いため、費用対効果の面で、今後更なる活性化が期待されますが、本市で導入する場合、人口規模や店舗数を勘案すると、同じやり方では事業効果の点で不安があります。そのため、検討にあたっては、導入の目的を明確にし、行政、商工団体、地元店舗等と連携しながら、市民へのメリット、市内経済活性化、財政負担等について十分な調査、研究を行い、小規模自治体独自の体制を構築する必要があると感じました。

4. 視察状況



